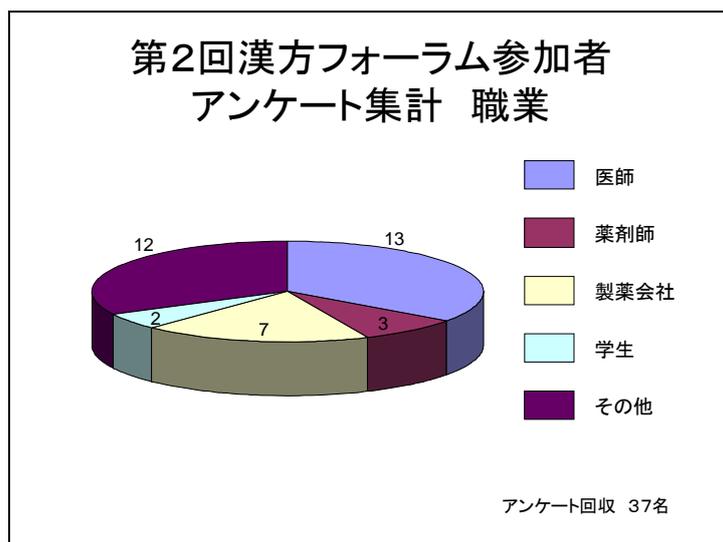
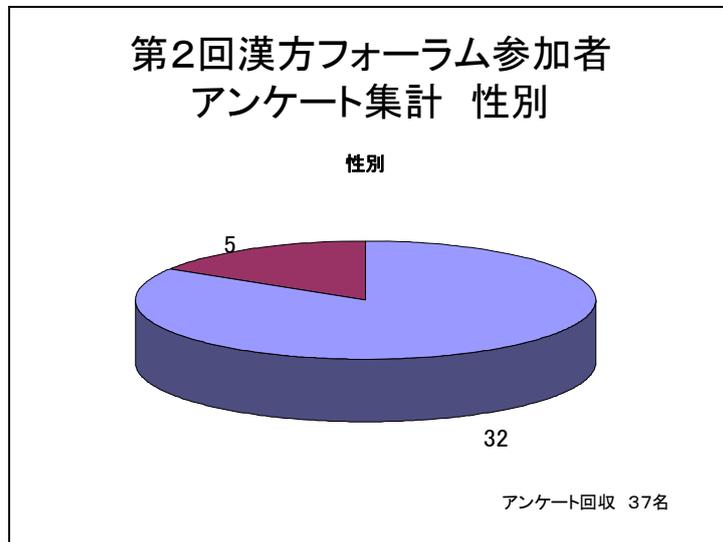
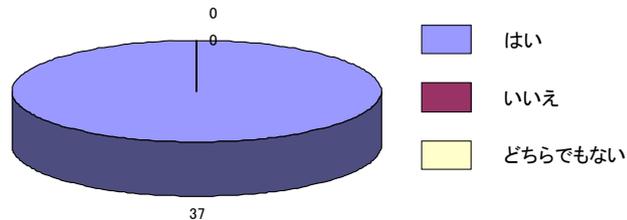


第2回漢方フォーラム アンケート集計結果



問1 超高齢化社会を迎えようとする日本の将来に総合医は必要と思われますか？

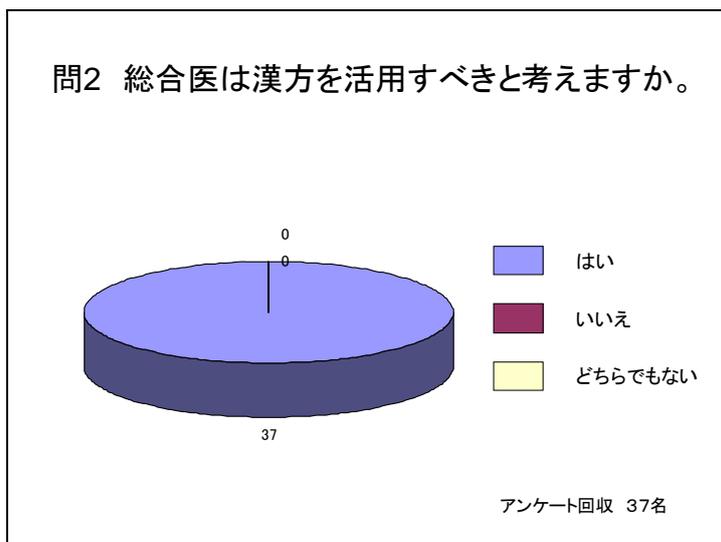


アンケート回収 37名

問1 超高齢化社会を迎えようとする日本の将来に総合医は必要と思われますか？

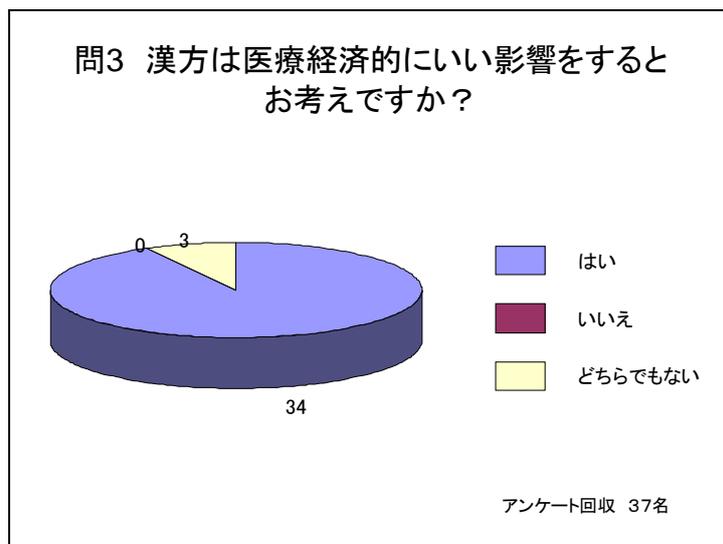
- ・ 素人的な目線で言いますと、専門医は個別の臓器や検査データの結果のみに目がいつているように思えます。患者を診ていないような気がします。
- ・ 今のホームドクターに、総合的な対応をしてほしいと思っているため必要だと思います。
- ・ これから高齢の患者さんがどっと増えるので、慢性疾患をみていただく医師は絶対に必要だと思います。
- ・ 高齢者は多臓器に疾患を有しているので、横断的に診療できる総合医が必要。
- ・ 高齢者に起こる医学的な問題以外も含めた問題に対処できる能力が必要。
- ・ 全人的な医療人の育成には臓器別専門医だけでなく患者さんが気軽に相談できるような総合医は不可欠だと思います。
- ・ 高齢者は概して単一疾患ではなく、多臓器に渡る多くの疾患、愁訴を抱えており全人的医療ができる GP が必要とされるので。
- ・ 超高齢化社会を迎える中、患者の first choice が総合病院であっては、医師の過労に加え、医療それ自体が回らなくなると思われるから、一つ下層に総合医を置き、総合医は専門医との適切な連携と鑑別が肝要となると考えている。
- ・ 高齢者はいろいろな疾病を抱えている（ので必要）
- ・ 臓器別でない、領域横断的な全体を診る総合医が高齢者診療を担うことが必要。

問2 総合医は漢方を活用すべきと考えますか。



問2 総合医は漢方を活用すべきと考えますか。

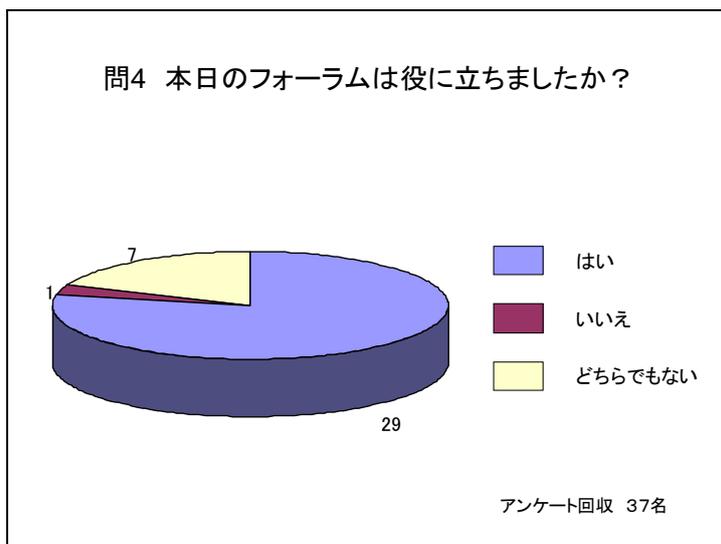
- ・ 必要であれば活用すべき。
- ・ 日本が漢方を活用することの意義を考えて、そう考えます。
- ・ 「かぜには葛根等」ではなく、きちんとどの病気にどんな薬が効くか、データを取った上で使っていくのがよいと思います。
- ・ 高齢者をみることの多い総合医は、高齢者に優しい漢方を活用したほうがよい。
- ・ 患者さんの満足度を高めるものであれば使うべき。
- ・ GPが求められる、全身のおよび全人的医療には漢方は欠かせないと思われる。
- ・ 全人的に患者を診る視点と共に漢方を運用することで、総合医菱の大きな助けになると思われる。
- ・ 治療のチョイスが広がるのでよい。
- ・ 漢方こそ総合医や予診医が学んでほしい。薬だけでなく方術としての漢方を！知ると治療者として患者様の訴えの中心を見抜き、早く、安全に治療方針を決める為の勘案が浮かぶと思う。」
- ・ QOLを支える大きな武器である。
- ・ 漢方は全人的医療の実践に有用であるのみならず、漢方の考え方を習得することで、総合医の診療態度を全人的医療に即したものにできる。
- ・ 全体を診る際に漢方治療は有用であるから。
- ・



問3 漢方は医療経済的にいい影響をされるとお考えですか？

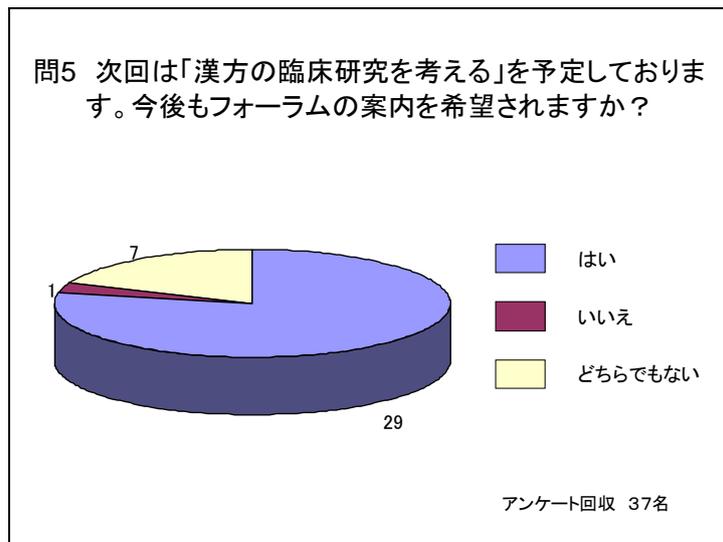
- ・ 西洋医学の限界は皆気づいています。マーケットは広がっていると思われます。美容系、サプリなどへの活用も拡大するかと思います。
- ・ 知識がないため、わからない。
- ・ 西洋薬と比較して、効果があり安価なのであれば、どんどん活用すべきだと考えます。
- ・ 患者さんの薬の量を減らすことができるのでよい。しかし、生薬を輸入に頼っていると値段が上がった場合困る。
- ・ 実際に医師となって漢方薬を使ったことがないのでどちらともいえない。
- ・ 抗生物質の代わりに漢方を出すこと、生活習慣病に漢方が出せるようになることの2つは大変意味のあることになるだろうと思う。
- ・ 対症療法による、多剤併用している患者の薬剤数を幾分減らすことにもつながると考えています。
- ・ はっきりしたデータの数がまだ足りないため（どちらともいえない）
- ・ 多疾病を少ない薬剤でまかなえる。
- ・ 漢方の「未病を治す」という考え方が、予防医学や早期治療の実践に結びつき、重症化する前に対処することで、医療費削減につながる。
- ・ 医療費の抑制という視点でも有益である。

問4 本日のフォーラムは役に立ちましたか？



問4 本日のフォーラムは役に立ちましたか？

- ・ 数名の講師の声が聞き取れません。
- ・ 私の素人としての知識に、新たな知識や刺激が若干しか戴けなかった。
- ・ 総合医の必要性を再認識した。
- ・ 広い視野で医療というものをとらえられている先生方の話を聞くことができたので（役に立った）。
- ・ このような機会が持たれたのは非常によかった。しかし、3学会のコンセプトがどのように違い、どこがオーバーラップするのかよくわからないので、漢方に対するスタンスに違いがあるのかなと感じた。臨床現場と教育現場での乖離があるようで、今回のフォーラムを契機に、漢方を含め教育現場に反映していただきたい。
- ・ 総合医が漢方を学ぶ必要性が理解できた。



問5 次回は「漢方の臨床研究を考える」を予定しております。今後もフォーラムの案内を希望されますか？

- ・ 同様なスタイルの催しなら伺いたくありません。
- ・ 大学勤務なので、漢方のEBMが必要。

その他今後の「21世紀漢方フォーラム」のテーマとして希望するもの、等ございましたら自由に記載ください。

- ・ 食養生
- ・ 漢方医と薬剤師や、整体師、鍼灸・マッサージ師等のコメディカルとのつながり方、情報提供などについての議論に関心があります。
- ・ 精神・神経疾患は難治性が高く、薬漬けが多いのが現状であろうかと思えます。漢方治療は？
- ・ Research → clinical へのつながり、EBM/NBM をどのように実践するか
- ・ 医療者のニーズに応じた履修体系のあり方（内科医、診療所医、急性期医、漢方医、…）それぞれについてがあるとよいと思いました。
- ・ 漢方と食のような学際的分野。治療食の方向性に対する漢方の役割。予防にも使えそうなので、予防（保持）と漢方の関連について。